

第42回通常総会のご報告

1 日 時 令和8年6月9日（火）14：00 から 14:45
2 場 所 アートホテル盛岡（盛岡市大通 3-3-18）

6月9日、第42回通常総会、総会記念講演会(第1回中央研修会)、交流懇親会がアートホテル盛岡において開催されました。会員118社のうち出席85社（委任状49社）が報告され、はじめに、千葉明寿会長より挨拶がありました。

千葉明寿会長（株式会社環境整備）挨拶

会員の皆様、本日はご多忙の中、岩手県環境保全連絡協議会の総会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。日頃より、本協議会の活動に多大なるご理解とご協力を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。

さて、現在、私たちは非常に厳しい経済情勢に直面しています。イランによるホルムズ海峡の緊張を受け、エネルギーや原材料の供給ルートに不安が生じ、県内事業者様におかれまして、大きな苦難に直面されていることと拝察いたします。今後、エネルギー価格の更なる高騰も懸念されており、経営の根幹を揺るがしかねない事態となっております。しかし、こうした危機的な状況だからこそ、環境保全の取り組みを単なる「コスト」として捉えるのではなく、事業の持続性や「回復力・適応力の強化」へと転換していく必要があります。地域におけるエネルギーの自律性を高め、無駄を省き、効率的なエネルギー利用を推進することは、環境負荷の低減と同時に、将来的な経営リスクを回避することにつながります。本年も、地域に根ざした実践活動の推進に寄与できるように産官学の幅広い交流、協力のプラットフォームの役割を果たしていきたいと思っております。皆様には、引き続き当協議会の活動にご理解とご協力をお願い申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

ご来賓として、岩手県環境生活部長 西野文香様にご臨席いただき、ご祝辞を賜りました。会長表彰として、以下の皆様に会長から表彰状が受賞者に授与されました。【環境保全優良事業所】(株)ジャパンセミコンダクター様 【環境保全優良従業員】中澤 友秀様（トヨタ自動車東日本(株) 岩手工場）

総会議案につきまして、すべての議案が全会一致で原案のとおり承認されました。

・令和7年度事業報告ならびに収支決算 ・令和8年度事業計画ならびに収支予算について

・役員改選（全員再任）

新会長に若林治男氏（宮城建設株式会社）新副会長に中村晃敏氏（シオノギファーマ株式会社）と千葉明寿氏（株式会社環境整備）が選出され、新体制でスタートしました。以

上で、閉会しました。

その後、15 時より第 1 回中央研修会(岩手県共催)を開催いたしました。講演として「サプライチェーン連携による省エネ支援策について」と題して国の政策動向について、東北経済産業局の佐々木 周様よりご講演いただき、東北での実践事例として「サプライヤーと創る環境負荷 低減 ~省エネとノウハウの共有~」としてキャノンプレシジョン株式会社(青森県)の佐藤 修 司様と澤田 一志様よりご講演をいただきました。

情報提供として、岩手県環境生活企画室グリーン社会推進担当工藤航希主査より「R8 年度岩手県の脱炭素支援施策について」、また、環境保全課環境生活企画室調整担当昆野智恵子主任主査より「フロン使用機器の管理者の責務について」「企業向け水生生物調査体験会」についてお話をいただきました。(研修会アンケートは別添資料参照)

交流懇親会では、会長表彰受賞者の皆さま、講師の皆さま、環境保全課古澤勉総括課長ご出席の元、交流を行い、盛況のうちに終えることができました。